

# 徳島の土地改良

2022. 1 No. 173



発行  
みどり  
水土里ネット徳島

みどり  
水土里ネット

徳島県土地改良事業団体連合会  
〒770-0935 徳島市伊月町1丁目32番地  
(徳島県土地改良会館)

明日の農村の夢を開く

代表 (088) 626-3211 FAX (088) 655-3399

<http://www.tokudoren.jp/org/index.html>

印刷所 グランド印刷株式会社



トマトパーク徳島（阿波市土成町）

## CONTENTS

- 岡本芳郎会長新年挨拶
- 知事新年挨拶
- 進藤金日子参議院議員新年挨拶
- 宮崎雅夫参議院議員新年挨拶
- 令和4年度農業農村整備事業関係  
予算概算決定の概要
- 農業農村整備の集い
- 令和4年度農業農村整備事業関係予算の  
確保について要望
- 徳島県知事へ農業農村整備事業の  
推進について要望活動
- 令和3年度換地関係異議紛争処理実務研修会
- 令和3年度土地改良区役職員研修会の開催
- 島根県への災害復旧支援
- 令和3年度全国土地改良事業功績者表彰
- 農地整備事業を進めよう! 徳島県農業開発公社
- 会議・行事
- 表紙写真の補足説明



## 新年のご挨拶

水土里ネット徳島  
徳島県土地改良事業団体連合会

会長 岡本 芳郎

令和4年の新春を迎え、皆さまに謹んでご挨拶を申し上げます。

会員並びに農業農村整備事業関係者におかれましては、コロナ禍で2回目の新年ではありますが、感染者数が抑えられていることもあり、昨年とは違って少しお正月らしい新年をお迎えのことと思います。

平素は、本会の業務運営に格段のご高配を賜りますとともに、農業農村整備事業の推進につきまして多大なるご尽力とご協力を頂いていることに対しまして、深く感謝申し上げます。

昨年は、各位の感染防止策や政府によるワクチン接種が進み、少しずつではありますが、日常を取り戻せる機会も増えてまいりました。本会においても、手指消毒や検温、三密の回避等の感染防止策を行いながら研修会や会議等を開催していますが、新たな変異株の脅威もあり、引き続き油断することなく基本的な防止策を徹底してまいります。

一方、昨年も記録的な大雨により、全国各地で河川の氾濫や土砂崩れが相次ぎ被害が発生しています。特に7・8月の梅雨前線豪雨では、山陰地方において農地などの甚大な被害が発生し、本会としても被災地の迅速な復旧を支援するため、島根県土連の要請を受け、島根県飯南町へ職員を派遣してきたところであり、この経験は、本県での発災時には必ず生かされると考えています。

さて、年末に公表された国の農業農村整備事業関係予算については、令和3年度補正予算1,832億円及び令和4年度当初予算4,468億円を合わせて6,300億円となっており、昨年度に引き続き、平成22年度の予算が大幅削減される前の予算を上回る額が確保されました。これも皆さまのご協力の賜で有り、ありがとうございました。

県では、これらの予算を活用して、農業の持続的発展のために、中間管理機構と連携したほ場整備等の推進や、農村に多様な人が住み続けるための、集落道等の生活環境整備を行うとともに、農業生産と農村生活を支える「ため池」や「排水施設」等のインフラの強靱化や持続性を強化することとしております。

本会と致しましても、県と連携し、農業農村の更なる発展に貢献するため、これまで培ってきた経験や技術にさらに磨きをかけ、会員皆さまの期待に応えられるよう役職員一同全力で取り組んで参りますので、より一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年の干支は寅で、「強靱な生命力を持っており、厄災を払い、家運隆盛を導く」といわれています。本年がアフターコロナの幕開けとなり、皆様にとって大いなる飛躍の年となられますことを、心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



## 新年のご挨拶

徳島県知事 飯 泉 嘉 門

明けましておめでとうございます。  
皆様には、輝かしい新年をお健やかに迎えることと、心からお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症との闘いが2年に及ぶ中、昨年は、全国的にワクチン接種が進むとともに、「ワクチン検査パッケージに関する技術実証」が進められるなど、日常生活回復への兆しが見え始めました。一方、今年に入り、新たな変異株により急激に感染が拡大しており、「感染拡大防止」を最優先に、「社会経済活動」をしっかりと維持していくことが求められています。

県内においても、昨年は、「感染拡大の防止」と「社会経済活動の維持」との両立に全力を傾注して参りました。「感染拡大の防止」では、「とくしまアラート」による注意喚起や帰省者等へのPCR検査受検支援を行うとともに、医療従事者はじめ関係者のご尽力のもと、国の目標を上回るペースでワクチン接種を進めることができました。また、「社会経済活動の維持」では、国の持続化給付金のモデルとなった融資連動型「新型コロナ対応！企業応援給付金」、新しい生活様式の実装を支援する「WITHコロナ『新生活様式』導入応援助成金」など、事業者の皆様の「業と雇用」を守って参りました。

そして、農業農村整備については、全国知事会会長として、「国と地方の協議の場」などあらゆる機会を通じて国に提言し、創設された「防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策15兆円」を最大限に活用し、地方創生を支える災害に屈しない「新次元の分散型国土」の創出に向け、老朽化した「農業水利施設の長寿命化対策」や、「防災重点農業用ため池」の防災工事はじめ「農山村地域の強靱化」を力強く推進して参りました。

さらに、昨年3月、国の新たな土地改良長期計画（令和3年3月23日閣議決定）が策定されました。県においても、同月、令和3年度から5年間の取組みをまとめた「徳島県土地改良事業長期計画」を策定し、ほ場整備や用排水路整備など生産基盤整備による高収益作物の導入や農地集積を推進するとともに、農山村地域の強靱化、土地改良区の運営体制の強化に取り組んで参りました。

さて、今年の干支は、「壬寅（みずのえ・とら）」。「壬」は「妊・任」に通じ、万物が生まれることから「育む責任を持つこと」を表し、「寅」は「演」に通じ、進展を意味する一方、「必ずしも順調には進まないこと」を暗示します。そこで、「壬寅」は、「あらゆる分野で新たな展開を迎えるものの、必ずしも順調とはいえず、各自が一層責任を持って任務に当たることが不可欠となる年」とされます。

今年は、約140年ぶりに「成年年齢」が改正、18歳へと引き下げられます。県内では、徳島南部自動車道「徳島JCT・徳島沖洲IC間」が開通予定、これにより沖洲地区及び津田地区は名実ともに「四国のゲートウェイ」へと生まれ変わります。

本年も引き続き、「もうかる農業」の実現に向けた「生産基盤整備の推進」とソフト・ハード両面からの防災・減災対策による「農山村地域の強靱化」に取り組むとともに、徳島県土地改良事業団体連合会の皆様と連携し、次世代を担う人材育成をしっかりと支援して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問  
参議院議員 **進 藤 金日子**

新年、明けましておめでとうございます。旧年中は、徳島県の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。本年も何卒宜しくお願い致します。

私も皆様にご支援をいただき国政に送り出していただけてから、早5年半が過ぎました。土地改良予算の動向を報告し、私なりの政治スタイルを再確認しながら次のステップを展望してみたいと思います。

昨年末には、令和3年度補正予算が臨時国会において可決、成立しました。土地改良予算は、総額1,832億円（TPP等対策：774億円、米対策：46億円、国土強靱化5か年加速化対策：1,012億円）です。令和4年度当初予算政府原案での土地改良予算は4,468億円（令和4年度からデジタル庁計上となる政府情報システム予算を含む。）であり、令和4年度の予算額は補正と当初を合わせて6,300億円となり、本年度と同水準の予算が確保できる見通しとなりました。

主な事業制度の新規・拡充事項としては、①農家負担がゼロの「農地中間管理機構関連農地整備事業」の工種に農業水利施設や農道、暗渠排水等を追加（現在は区画整理と農地造成のみ）、②「農地耕作条件改善事業」の助成対象に田んぼダム導入に係る調整活動や畦畔補強等とともに除草機器を追加、③省エネ化・再エネ利用に取り組む「かんがい排水事業」の事業費要件や末端要件を緩和、④「土地改良施設維持管理適正化事業」に「防災減災機能等強化対策」（防災・減災機能の強化、施設管理の省エネ・再エネ利用や省力化を図るための施設整備）を新設（国費率を従来の30%から50%に嵩上げ）、⑤「土地改良区体制強化事業」の助成対象に小規模土地改良区の業務再編を追加することなどが挙げられます。

私は、これまで全国津々浦々を訪問し、現場の実情を視て、現場の声を聴いて、それらを国政の場に届け、課題解決の実現に努めて参りました。私自身、現場目線、国民目線での政治こそが、いま強く求められていると痛感しています。こうした活動が事業制度の新規・拡充要求に繋がっているものと確信しています。徳島県内にも度々訪問し、色々なご指摘や多くの要請をいただきました。こうした現場の声を真摯にお聴きし、改善できるものはすぐに改善し、事業制度の新規・拡充に繋げる必要があるものは次年度の予算要求に反映できるように更に努力して参ります。

全国各地の農業・農村は多様であり、それ故に各種要請の内容も多様です。引き続き同志の宮崎雅夫議員と力を合わせ、必要な予算の確保とともに、現場の課題解決に直結する制度構築等に全力で取り組んで参ります。今後とも、これまでの政治スタイルとスタンスを変えることなく、泥臭く鈍重でも、急峻な斜面を一步一步踏み締めて前進する牛のように精進し、現場が抱えている課題を一つでも多く解決できるように結果を出して参る所存です。

皆様からお預かりした参議院議員の任期も残すところ7か月余りとなりましたが、まずは貴重な任期を一日たりとも無駄にすることなく政治活動に全力投球して参ります。そして、次のステップに進むためには改選という高く厚い壁を超えなければなりません。私自身、この壁の突破に専心努力して参る覚悟ですので、皆様の引き続きのご指導とご支援を心からお願い申し上げます。皆様の益々のご健勝とご活躍を心からお祈りいたしております。



## 新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 宮崎 雅夫

徳島県土地改良事業団体連合会会員各位ならびに関係の皆様へ謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は多大なるご支援とご指導を賜り衷心より感謝申し上げます。

昨年10月に発足した岸田内閣ならびに11月発足の第二次岸田内閣において、農林水産大臣政務官を拝命いたしました。これも偏に徳島県の皆様ならびに、進藤金日子参議院議員はじめ先輩国会議員のご指導とご支援によるものであり、本年も新たな気持ちで現場主義に徹しつつ皆様のご意見をお伺いしながら一層努力して参る所存ですので、引き続きのご指導をお願いいたします。

さて、ここ2年に亘って農林水産業はじめ各方面に影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症は、国民の皆様のご協力により、昨秋以降の新規感染者数は低位に推移していますが、新たな変異株による感染拡大も懸念される昨今の状況からは決して油断することはできません。

経済安全保障の重要性が叫ばれる中、食料の多くを輸入に頼る我が国にとって食料安全保障の確立は極めて重要であり、そのためには我が国の農林水産業の持続的発展が不可欠です。

こうした中、昨年末には、皆様のご協力により令和4年度当初予算案が閣議決定されるとともに、臨時国会において令和3年度第1次補正予算が成立し、農業農村整備事業関連予算として合計6,300億円を確保することができました。

令和4年度当初予算案においては、前年度の当初予算を上回る4,468億円を確保し、農地の大区画等の推進、水利施設・ため池等の老朽化対策や流域治水などを推進することとしています。また、令和3年度補正予算では、TPP対策や防災・減災、国土強靱化対策の加速化に必要な1,832億円が計上されており、全国の皆様のご要望にしっかりと応えできる規模となっています。

また、これから国会で議論される令和4年度当初予算案に関連して、土地改良法の改正を検討することとしており、主な事項としては、これまで地震対策として実施してきた、ため池等の急激な防災事業に豪雨対策を追加すること、農地中間管理機構関連農地整備事業の対象工種に農業用水路等を追加すること、市町村や土地改良区による防災対策事業の機動的実施のため、土地改良事業団体連合会による技術的支援等を可能とすること、また、組織の維持が困難となった小規模土地改良区について、法人格を維持しながら認可地縁団体等に移行できる手続きを規定することなどが予定されています。予算と制度が車の両輪となって土地改良が円滑に実施され効果が確実に発現できるよう、引き続き進藤金日子議員とともに頑張る所存です。

これからも皆様とともに土地改良を着実に推進するため、大切なもう一つの車の両輪である、進藤金日子議員と一緒に国政で取り組んで行けるよう、徳島県の皆様へ格段のご支援をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様お一人おひとりのご家族にとって素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願いいたします。

## 令和4年度 農業農村整備事業関係予算概算決定の概要

令和3年12月24日、令和4年度予算案が閣議決定されました。

農林水産省関係予算は、2兆2,777億円、前年比99.7%となっています。

農村振興局関係予算は、5,774億円、対前年比99.6%で、このうち農業農村整備事業関係は3,322億円、対前年比100.1%の増額予算となっています。

### 農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要

(単位：億円)

	令和3年度 予算額	令和4年度 概算決定額 A	令和3年度 補正追加額 B	合計 A+B
農業農村整備事業（公共）	3,317	3,322 (100.1%)	1,832	5,154 (155.4%)
農業農村整備関連事業（非公共）	518	540 (104.3%)		540 (104.3%)
（農地耕作条件改善事業 （農業水路等長寿命化・防災減災事業） （農山漁村振興交付金）				
農山漁村地域整備交付金（公共） （農業農村整備分）	595	591 (99.5%)		591 (99.5%)
計	4,430	4,453 (100.5%)	1,832	6,285 (141.9%)

(注) 1. このほか、政府情報システム予算の農業農村整備事業関係予算が15億円。

2. 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。

### 農業農村整備事業の概要

(単位：億円)

事 項	令和3年度 当初予算額 A	令和4年度 概算決定額 B	対前年度比 (%) B/A	令和3年度 補正予算額 C	令和3年度 補正予算額 + 令和4年度 概算決定額 B+C	
					対前年度比 (%) (B+C)/A	
農業農村整備事業						
国営かんがい排水	1,061	1,059	99.8%	213	1,272	119.8%
国営農地再編整備	372	403	108.2%	199	602	161.7%
国営総合農地防災	255	291	114.2%	46	336	132.1%
直轄地すべり	3	4	129.4%	—	4	129.4%
水資源開発	75	80	107.5%	3	83	111.5%
農業競争力強化基盤整備	682	629	92.3%	915	1,544	226.5%
中山間地域農業農村総合整備	57	51	90.5%	15	66	116.9%
農村地域防災減災	449	407	90.7%	424	832	185.2%
農村整備	63	71	112.2%	17	88	139.1%
土地改良施設管理	172	191	111.2%	—	191	111.2%
その他	129	135	104.8%	—	135	104.8%
計	3,317	3,322	100.1%	1,832	5,154	155.4%

(注) 1. このほか、政府情報システム予算の農業農村整備事業関係予算が15億円。

2. その他には後進地域開発特例法適用団体土地改良等関係開発指定事業補助率差額金を含む。

3. 国営かんがい排水には土地改良施設突発事故復旧事業（直轄）、農業競争力強化基盤整備には土地改良施設突発事故復旧事業（補助）を含む。

4. 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。

## 農業農村整備の集い —農を守り地方を創る予算の確保に向けて—

農業農村整備の集いが、令和3年11月16日、東京都千代田区砂防会館で開催され、国会議員を含め約600名の土地改良関係者が全国から参集しました。

新型コロナウイルス感染者数が低水準であるものの、万全の感染対策により開催されました。

農林水産省からは金子原二郎農相、武部新副大臣、宮崎雅夫政務官をはじめ、牧元幸司農村振興局長、安部伸治同局次長、川合規史同局整備部長ら幹部が出席。要請案文を来年の全国土地改良大会開催県である沖縄県の古謝景春沖縄県土連会長が朗読、これを全会一致で採択しました。

二階俊博全土連会長からは、「農家の方々が期待を持って働けるような環境をつくるため、一致団結して闘っていかねばならない」、全土連の会長に就任して以来、「闘う土地改良」を掲げてきた。令和3年度予算については、多くの方々のお支えにより、令和2年度の補正予算を含め6,300億円を確保することができた。また、防災・減災の為に国土強靱化対策が延長され、新たな5か年加速化対策として、総額15兆円が予算化されることとなった。これもひとえに皆様方のご努力の賜物であると感謝申し上げる。本日特に申し上げることとして、土地改良での男女共同参画である。土地改良団体の活性化のためにも取り組んで欲しいとの挨拶がありました。

閉会后、各都道府県、水土里ネットの代表者が政府、国会議員などへ要請活動を展開しました。



## 財務省・農林水産省等への要望活動

令和3年11月29日（月）・30日（火）、本会の岡本会長他役員が財務省・農林水産省に対し農業農村整備事業の推進について要望活動を行いました。

要望活動は、高村正大財務大臣政務官、中村裕之農林水産副大臣、牧元幸司農村振興局長、安部伸治農村振興局次長、川合規史農村振興局整備部長に面談し、要望書を提出。徳島の特産物やその加工品を紹介するとともに地区の状況や課題を説明し、農業農村整備事業の重要性などを伝えました。

また、徳島県選出国會議員にも同様の要請活動を行うとともに、財務大臣政務官、農林水産副大臣の要請活動にも同席頂きました。

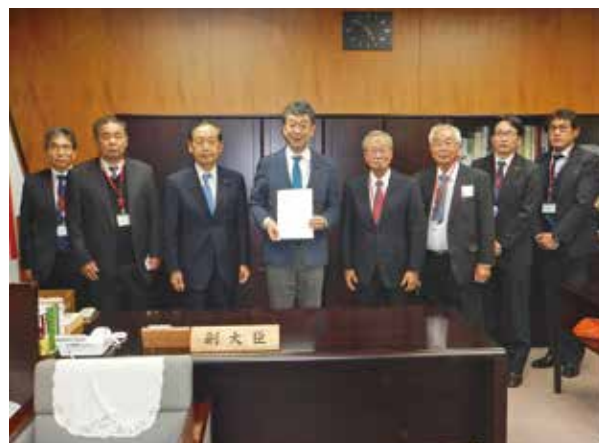
#### 要望内容

強い農業と活力ある農村の実現に向けた農業農村整備事業の推進について

- 令和4年度当初予算の編成にあたり、農業農村整備関係事業が計画的かつ効果的に展開できるよう、必要な予算を確保すること
  - また、令和3年度補正予算についても、十分な予算措置を講じること
- 農村地域の防災・減災、国土強靱化の実現に向けた予算を確保すること
  - 特に、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策については、2年目以降も1年目と同様に十分な予算を確保すること
  - また、「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」及び「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」に基づく各種施策の実施にあたっては、必要な支援を行うこと
- 複式簿記の活用など組織運営基盤の強化を図るため、土地改良区の体制強化に対する支援の充実強化を図ること
- 「人・農地など関連施策の見直し」に掲げられた土地改良制度の拡充を令和4年度予算の成立に合わせて具体化すること



高村正大財務大臣政務官



中村裕之農林水産副大臣



牧元幸司農村振興局長



川合規史農村振興局整備部長



## 徳島県知事へ 農業農村整備事業の推進について要望活動

徳島県土地改良事業団体連合会は、令和3年12月16日（木）、飯泉徳島県知事に対し「農業農村整備事業に関する要望」を行いました。

水土里ネット徳島岡本会長から飯泉知事に要望書を手渡し、飯泉知事からは「徳島県としても施策の実施にあたっては積極的に関与するとともに予算確保などの支援については徳島県土地改良事業団体連合会と協議していきます」と回答を頂きました。

### 【要望事項】

- 令和4年度当初予算の編成にあたり、農業農村整備関係事業が計画的かつ効果的に展開できるよう、必要な予算を確保すること
- 「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」及び「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」に基づく各種施策の実施にあたっては、県が積極的に関与するとともに、必要な支援を行うこと
- 中山間地域における生産性の向上と活性化を図るため、必要な生産基盤整備及び農村インフラ整備を推進すること
- 複式簿記の活用など組織運営基盤の強化を図るため、土地改良区の体制強化に対する支援の充実強化を図ること



## 令和3年度換地関係異議紛争処理実務研修会

土地改良区体制強化事業の「研修・人材育成」の一環として全国土地改良事業団体連合会の主催により、令和3年10月20日、「令和3年度中国四国ブロック換地関係異議紛争処理実務研修会」が、ウェブ会議で開催された。

本研修は、土地改良換地に関する異議紛争の未然防止及び早期解決を図る研修として位置付けられており、農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課、法務省民事第二課、中国四国農政局農村振興部土地改良管理課、全国土地改良事業団体連合会中央換地センター及び中国四国管内の県並びに土地改良事業団体連合会から換地業務に携わる47名の技術者が参加し、今年度の当番県として香川県が座長を行った。

最初に、農林水産省より「換地を取り巻く状況」について情報提供があり、続いて異議紛争事例として島根県から「地区界設定のために分筆を必要とする改製不適合物件の土地について問題を解消した事例」、岡山県からは「相続放棄の事実を知らずに相続登記を行い、相続放棄した相続人を権利者として換地処分が行われていたことが換地処分登記後に判明した事例」、愛媛県の「工事実施後に事業施行区域の地区外隣接土地所有者から地区内の土地との境界が異なるとの苦情が出された事例」の発表があり、活発な議論を深めた。

最後に全国土地改良事業団体連合会中央換地センターから、換地技術者の年齢構成等について報告があった。



## 令和3年度土地改良区役職員研修会の開催

徳島県農山漁村振興課、東部農林水産局、南部・西部総合県民局農林水産部の主催により、土地改良区の役員及び職員を対象に、土地改良法等の関係法令やコンプライアンス、その他土地改良施設管理に関わる事項について広く知識を付け、よりよい土地改良区運営や土地改良施設管理を行うための研修会が、県内4箇所において開催されました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、原則1土地改良区1名の出席をお願いし、96団体135名が参加しました。

### ○日時・場所

#### 第1日

日時：令和3年11月25日（木）14：00～16：00

場所：徳島県吉野川庁舎

#### 第2日

日時：令和3年11月26日（金）14：00～16：00

場所：徳島県美馬庁舎

#### 第3日

日時：令和3年12月7日（火）14：00～16：00

場所：徳島県徳島庁舎

#### 第4日

日時：令和3年12月8日（水）14：00～16：00

場所：徳島県阿南庁舎

## ○研修内容

内 容	講 師 等
1. 土地改良区における女性理事登用の推進 2. 維持管理計画書の変更手続き 3. 土地改良区のコンプライアンス 4. 農業用施設の転落防止	中国四国農政局 農村振興部 土地改良管理課 課長補佐 石田 昭弘
5. 貸借対照表の作成について 6. 土地改良施設台帳の更新手順等 7. 農業版BCP	徳島県 農林水産基盤整備局 農山漁村振興課 次世代体制担当 課長補佐 赤堀 孝 主査兼係長 大西 啓之 主任主事 元木 志織

## 島根県への災害復旧支援

私たちは令和3年10月初旬から12月末までの期間、1ヶ月ずつの交代にはなりますが、災害復旧事業の支援のため島根県に行っておりました。

派遣先は、島根県の飯南町という所で島根県土地改良事業団体連合会の職員の方と飯南町役場で査定設計書の作成作業を行っておりました。

飯南町は島根県の中南部にあり広島県と接しています。町の周囲は1,000m程度の山に囲まれ平坦部の平均標高が約450mと高原地帯に広がる町であり、面積約243km<sup>2</sup>、人口約4,700人です。また、町全体が豪雪地帯に指定されており、徳島県とは違った季節の移り変わりが見られます。特産品としては、リンゴ、米、椎茸、舞茸があり、特に米については化学肥料を抑えたエコロジー米（特別栽培米）の栽培に取り組んでおり、日本全国に出荷することで地域産業として農業が欠かせないものとなっています。

被災状況については、令和3年7月4日～13日に発生した豪雨により農地畦畔の崩壊や施設の破損が町内で小規模災害合わせて約250箇所発生していました。

飯南町での作業は、主に査定設計書の作成作業をしていました。作業中に感じた点としては、私たちが当たり前のように思っていたことが、他県では違うことが多くあり、地域や県の気候条件に応じた理念に基づいてルールが決まっていると思いました。

また、自治体と土連の間でも綿密な情報共有がなされており、スムーズな作業工程をたてることが出来ていたように感じるとともに、自治体と協力して作業する上で把握しておくべき情報や効率の良い作業の進め方を知ることが出来ました。

今回の災害支援業務によって得られた経験を今後の業務に活かしていければと思っております。



飯南町役場（会議室）の様子



飯南町役場周辺の様子



農地の被災状況1



農地の被災状況2

令和3年 災害復旧事業(補助)計画概要書

災害名及び被災年月日	令和3年7月4日～令和3年7月13日発生 令和3年7月豪雨災害	関係面積	ha
地区及び箇所番号	125ノ76	受益面積	ha
施工位置	徳島市 徳島 地内	受益戸数	戸
事業主体	徳島市	被災前の工法	二次製品水路
工種	水路	緊急順位	A
		施設又は誘水の制	誘水
区分	事業量	事業費	摘要
総事業費	125	8,108	千円 事業費限度額
うち未成	—	—	
うち転置	—	—	
差引	125	8,108	千円 平均農業用物産分償及び事業損失防止施設費 を除く事業費 8,099 千円
災害原因及び被災状況	令和3年7月4日～令和3年7月13日発生令和3年7月豪雨により、地下水位上昇に伴う浸水のため、水路施設が崩壊し水路が断たれた。		
確定書番号	12		
復旧工事計画	A工区 橋脚長さ244m、堤防176m、二次製品水路52m、ヒューム管φ900×40m、埋戻土付埋設管、埋戻土付水路2箇所、ボックス1箇所、法面整形144m、護土工137m、コンクリート敷設・運搬処理(橋脚)184m、コンクリート敷設・運搬処理(堤防)84m B工区 堤防142m、法面整形190m、埋戻土路・敷設運搬(敷設)190m C工区 フランカ工33m、法面整形2m、埋戻土路(敷設)143m D工区 二次製品水路敷設19m、法面整形5m、仮設運搬(敷設)72m		

項目	法面整形	堤防	144	m <sup>2</sup>	700	100	328 × 1,586 × 1.98	積込1.7
	埋戻土	全高差	137	m <sup>2</sup>	1,700	232	1,700 × 1.586 × 1.98	積込1.7
構造物築造	コンクリート敷設	敷設	0.4	m <sup>3</sup>	14,100	5	14,100 × 1.586 × 1.98	積込1.7
	コンクリート敷設	敷設	0.4	m <sup>3</sup>	28,000	11	28,000 × 1.586 × 1.98	積込1.7
	コンクリート敷設	敷設	0.4	m <sup>3</sup>	4,300	1	4,300 × 1.586 × 1.98	積込1.7
	コンクリート敷設	敷設	0.4	m <sup>3</sup>	3,300	1	3,300 × 1.586 × 1.98	積込1.7
	コンクリート敷設	埋戻土路処理費	0.4	m <sup>3</sup>	11,200	4	11,200 × 1.586 × 1.98	積込1.7
	コンクリート敷設	埋戻土路処理費	0.4	m <sup>3</sup>	14,300	5	14,300 × 1.586 × 1.98	積込1.7
	小計					4,915		

査定設計書抜粋

事業課 調査設計担当  
課長 井原 一浩  
係長 山川 康宏  
技師 犬伏 政貴

## 令和3年度全国土地改良事業功績者表彰

表彰は、長年にわたり土地改良事業の成績が顕著で功績があり、他の模範となる団体又は個人について行われます。

令和3年度全国土地改良功績者表彰は令和3年10月全国土地改良大会(群大会)で表彰される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響から群馬県関係者以外はオンラインでの開催となり表彰式に参加できなかったため、水土里ネット徳島から表彰状の伝達を行いました。

理事長を務める里浦土地改良区は、鳴門市東部の沿岸部に位置し、県営畑地帯総合整備事業実施を目的として平成元年11月に設立されました。受益面積289ha、組合員数325名の土地改良区で国営農地防災事業の受益地内にあり、畑総事業の実施(H21年度完了)により国営事業の効果(きれいな農業用水の供給)が早期に発現することとなりました。



楠理事長は、県営畑総事業の実施中は、総代、理事として事業推進に力を注ぎ、事業完了後に理事長に就任されました。以降、国や県、市と連携し、改良区の適正な運営並びに土地改良施設の維持管理、農業用水の配水管理など改良区業務の着実な執行に尽力されました。

心よりお慶びを申し上げますとともに、これまでの活躍に対し深く敬意を表します。

### 全国土地改良事業功績者表彰

全土連会長表彰 楠 博文  
里浦土地改良区理事長

# 農地整備事業を進めよう！

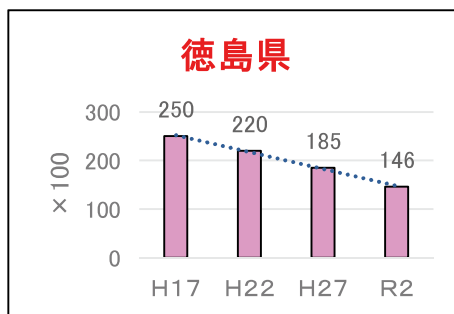
徳島県における**農業経営体数**は、15年の間に約10,000減少し、平成17年に対する令和2年の割合は**約58%**で**担い手が急激に減少**しています。また、新型コロナウイルスの影響等による米価の低迷から、農地を貸したい農家は増えていますが、不整形な農地や**大型機械の利用が難しい農地**、**水の便が悪い農地**等については、**受け手が見つからない**状況にあります。

次代に農地を託すためには、農地の基盤整備が必要になっています。

**(公財) 徳島県農業開発公社**は、農地中間管理事業を通して経営規模の拡大、効率的な土地利用を推進しており、県や**土地改良联合会**と協力しながら、**農地中間管理機構関連農地整備事業**の実施を応援しています。

農地の貸借は、公社を経由する手法を主とした制度に、国において見直しがなされています。

農業経営体数の推移



(経営耕地面積が30 a 以上又は一定の規模以上の農業経営を行っている個人、法人等)

農地を貸したい人



**徳島県農業開発公社**  
(知事指定：農地中間管理機構)

農地の出し手と借り手の仲介役

- ①条件により、成立しないこともあります
- ②契約期間終了後、農地は確実に戻ります



農地を借りたい人




**(農地中間管理機構関連農地整備事業)**

**農家の自己負担なしで、ほ場整備が実施可能  
管理しやすい農地へ！ 県がほ場整備工事を実施**

以下の条件等で、自己負担がゼロとなります

- 地域農家の総意でほ場整備を進めたい
- ほ場整備する範囲の農地面積が10%以上 (中山間5%)
- (公財) 徳島県農業開発公社へ農地を15年以上貸し出す
- ほ場整備後は、認定農業者等への貸付



**< 現在実施地区 > 阿南市 (芳崎、長生中央) 小松島市 (和田島)**

公益財団法人 徳島県農業開発公社 (農地中間管理機構)  
〒770-0011 徳島県徳島市北佐古一番町5番12号 JA会館8階  
<http://www.tokushima-kousha.jp> ☎ 088-624-7247

## 会議・行事

開催日	会議・行事	開催地
10月	6日(水) 全国土地改良大会群馬大会(オンライン開催)	群馬県
	7日(木) 阿波吉野川土地改良事業推進協議会	吉野川市
	11日(金) 中国四国管内各県耕地課長会議	Web会議
	20日(水) 令和3年度換地関係異議紛争処理実務研修会	Web会議
11月	28日(木) 企業トップクラス及び公正採用選考人権啓発推進員研修会	徳島市
	2日(火) あわ水土里女性の会 役員会	徳島市
	4日(木) 土地改良施設の整備補修事例検討会(中国四国ブロック検討会)	広島市
	11日(木) 令和3年度中国四国土地改良事業団体連合会事務部会	Web会議
	16日(火) 農業農村整備の集い	東京都
	25日(木) 土地改良区役職員研修会(吉野川管内)	吉野川市
	26日(金) 土地改良区役職員研修会(美馬・三好管内)	美馬市
	29日(月)~30日(火) 農業農村整備事業予算等要望活動	東京都
12月	3日(金) 令和3年度中国四国土地改良事業団体連合会技術部会	Web会議
	7日(火) 土地改良区役職員研修会(徳島管内)	徳島市
	8日(水) 土地改良区役職員研修会(阿南・美波管内)	阿南市
	8日(水) 第15回阿波市土地改良区連絡協議会総会	阿波市
	16日(木) 徳島県知事へ農業農村整備事業の推進について要望	徳島市
	20日(月) とくしま水土里ネット次世代ネットワーク役員会	徳島市
	22日(水) 土地改良法改正に関する説明会	Web会議

### トマトパーク徳島 (表紙写真)

トマトパーク徳島は、親会社である栃木県のトマトパークが、西日本における高収益トマトの栽培技術の拠点として、安定した用水確保が出来ることや面積規模など好立地条件に恵まれている阿波市土成町に園芸ハウスを建設されました。

「農地耕作条件改善事業」により区画整理を実施し、農地中間管理機構を介して農地の集積・集約化を行った後、「強い農業・担い手づくり総合支援交付金」を活用して、県内最大規模の高度環境制御栽培施設が完成しました。

水源は地元土地改良区と協定を結び、吉野川北岸用水をハウス内に引き込むことにより安定的に用水が確保でき、収量や品質の向上が期待できます。

国内の業務用トマトは多くは輸入に頼っているため、消費者の安心・安全を確保するため、トマトパーク徳島は全て国産に変えたいという思いで栽培に取り組んでおり、大区画化等の基盤整備のハードと併せ、スマート農業等のソフト対策の導入により生産コストの削減となっています。

また、本地区で新たに設立された法人であるため、現地採用として20名を雇用するなど、地方創生の一助になっています。更には、徳島県や阿波市と協力し、次世代の農業の担い手を育成する役割を担い、地域の住民と共に後継者の育成に尽力し、魅力ある農業を実践し、日本の農業の発展に貢献していくことを目標とされています。



ハウス外観



ハウス内



温湯暖房レール



統合環境制御装置



給液装置



原液タンク(手前) 用水タンク(奥)